

# 日立シニア会

第10号

発行  
平成13年9月6日

大みかゴルフ日立シニア会会報



大みかゴルフ場

## ご挨拶

会長 齋藤 隆



高橋前会長の後を受けて今年の4月、会長に就任することになりました。及ばずながら鋭意務めて参りますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

平成9年7月に、日立シニア会の創刊号が発行されて以来、丁度4年が過ぎ去り、第10号特集号が発行されることになりました。誠にめでたいことでご同慶の到りであります。この巻頭にご挨拶を載せて頂くのは光栄です。

この4年の間、高橋前会長を始め総務委員のご尽力により、日立シニア会の会則や名簿が立派に整備されました。エチケット委員によるエチケットの励行が強調され、また500名に及ぶ会員の競技日程、組合せ、成績の取り纏め、表彰など嬉々として働いてはいるものの、競技委員のご努力は大変なものです。そして年2回の広報誌の発行、特に特集号の発行に際しての広報委員のお骨折りは並々ならぬものがあります。これら役員の方の活動に対し心から敬意と感謝の念を捧げる次第です。

今後残された問題は会員の増加に如何に対処していくかです。然し会員が増えるということは喜ばしいことで、問題と取り組みながら日立シニア会が益々発展し、会員同志の絆が一層強まることを念願してやみません。

## 初めてのトロフィー みんながトロフィー

A組 渡邊 則之



私がゴルフを始めて間もない頃、今から30数年昔、近頃のようなゴルフブームが訪れる以前の話である。職場の中にも、ぼつぼつゴルフを始める人が現われ、ゴルフ談義も賑やかになってきて、仲間同志のゴルフコンペをやるのではないかということになった。気の置けない仲間といっても、コンペを経験しているベテランは二人か三人で、殆どはいわゆるビギナーばかり。スコアは二の次で、「わいわい」「がやがや」の方が楽しい催しだった。

コンペには賞品が付き物なのは誰も知っているのだが、賞品など貰ったためしがない連中ばかり。ところがその時の賞品は、意外や意外、みんなが喜ぶものだった。

後日、大みかゴルフコースの管理人になった山田さんが、まだ工場の職場にいて、その時の幹事役だったと思う。「みんなはゴルフの賞品など貰ったことはないだろう。でも、一つ位はトロフィーを持っていてもいいではないか。今回は、みんなが入賞ということで、全員にトロフィーを贈呈する」というのである。仲間は二十人位いたろうか。ゴルフスイングをなぞった銀色の像が載った小さなトロフィーだったが、びり糞まで全員が、記念のトロフィーを手にしたのである。

勿論、私にとっては、記念すべき初めてのトロフィーだった。

## ホッケイスティック

B組 城取 睦



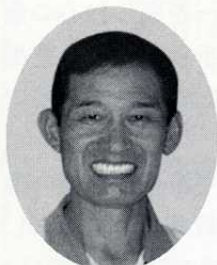
中学生の頃、一人暮らしをしていた親戚のお婆さんが亡くなり、空き家は不用心だと留守居役を命じられた。この家は別荘として建てたもので、庭の先は諏訪湖に繋がり、内湯に温泉が引かれ、和洋折衷の大きな二階建てであった。ある日、洋間の掃除中に筒状の皮バックに入った、ホッケイスティックを見つけた。アイスホッケー用としては少し短いので、地面でやるホッケー用だと思った。

日本にアイスホッケーが伝えられたのは、大正10年頃と言われ、大正13年1月には、慶大、早大、東大、旧制松本高校などにより、初めての試合が諏訪湖で行われたと聞いている。昔は冬の諏訪湖は毎年結氷した。校舎の窓の下近くまで湖だったから、昼休みにはスケートを履いて窓から氷上に出たものである。中でも、手製のスティック、空き缶のバック、長靴履き、人数は無制限のアイスホッケーが最も人気があった。

洋間で見つけたスティックは、大歓迎を受け、羨望の的となり、毎日奪い合いとなった。あれから20年余りが過ぎ、スティックのその後は知らない。しかし、初めてゴルフ道具を買い、5番アイアンを手にしたとき、一瞬間いた。そうだ、あれはゴルフクラブだったのだと。

## 年相応のプレー

C組 平田 敬一



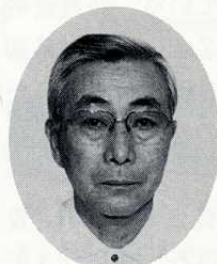
「かなり苦勞しているね」と友人。ニヤニヤしている顔は「俺も苦勞しているから分かるよ」さらに「お前さん一生懸命やっても、もうあまり望みないね」と言っている。以前できたことができなくなり、その原因が何処にあるか分らずにひどいスコアが定着してしまう。ある年齢に達したゴルファーの多くが経験することであろう。(そうでない先輩には失礼！)

原因は、加齢による身体能力の低下を無視して、まだできる筈だと思つてころにある。「年を考えたプレー」については、きっとゴルフ雑誌などに載っていると思うが、見ようもしない自分である。「己を知れば」百戦で50勝はできる筈だから「年相応の」プレーをすればよいのだろうが、どうも今いちつまらない。

この4月から茨大で働いているが、最も楽しいのは学食の昼飯である。ムンムンした汗の臭いに囲まれると、脂質過多の丼飯も若者と同じベースで苦もなく胃袋に納まってしまふ。臆することなく上手な同伴競技者達の中に飛び込んで、その雰囲気の後押ししてもらってガンガンプレーする方がやはり楽しそうだ。「また懲りないで・・・」と言っているに違いないニヤニヤ顔の友人が目に見えかぶ・・・。

## ゴルフ雑感

D組 酒井 功一



ニクラウス61歳、青木58歳。なあーんだ、意外に若いじゃないか。コルバートがイーグルに続いてチップインを決めて、スルスルとトップに踊りだした。流石にプロだな。グリーン周りの技に思わず唖ってしまう。USシニアの面白い所は、個性のあるフォームから繰り出される味のあるショットだ。特にパットのスタイルは人様々だ。中でも青木のコツンは独特だ。ニクラウスもBest 8に上がってきた。青木も1打差で頑張っている。さあ、これからパーパット、スライスかな・・・。突然、警報が鳴って雷の接近による中断。USシニアオープンの3日目である。(7月1日記)

プロと我々アマシニアの差は何だろう。飛距離、精度の高いアプローチ、パッティング技術、どれも練習量や経験や体格(?)に雲泥の差があるのが原因なのは明らかである。しかし、然しだ。スコアの違いの最大原因はパットである。何しろゴルフは14・22・36の合計72のゲームなのである。ドライバーは14回使いパターは36回使用するのが基準だからである。それなのにドライバレンジに通う人は多いが、パットの練習に時間を掛ける人は少ないように思う。理屈は分かっているのだから、パットに磨きをかけ、一度位はシニアの優勝をしたいと思うこの頃である。

## ● 大みかコース礼賛 ●

野澤 猛



大甕のゴルフ場でゴルフを覚え、グランドシニアの今日に及んでいます。大甕の会員になった頃は、先輩に従って行くだけで、プレーを楽しむ心の余裕はありませんでした。然し雄大な松林に囲まれ、綺麗に手入れされた芝生の上を歩くこと自体、正大の気を養われた感じで、満足したことを覚えています。

大みかゴルフ場は、日立創業25周年記念事業として、小平浪平翁が県内最古最大の名門コースとして、昭和11年に開場されたことは教えられていました。然し戦後復興された時は、ショートコースが主で、現在の6ホール、パー24になったのは、昭和48年からです。この間戦時中失われた用地の確保、名門コース再興のための関係者の御苦労は並大抵のものではなく、心から感謝申し上げます。

戦前の大みかGCは、若き日のゴルフコース設計者井上誠一先生が関与された名門コースの一つで、「那須」、「久里浜」も先生が関与されました。(ぶんか社刊「書斎のゴルフ」による) 同書によれば、昭和28年の大洗ゴルフクラブの設計に当たっては、「大みかGC」の設計テーマ(松林、砂丘、自然)を存分に活かされたそうです。

このような名門コースを愛される「日立シニア会」の発展と、役員以下会員のご健勝をお祈り申し上げます。

## ● H S G 発足の話 ●

一木 利信



昭和48年4月日立シニア会が発足、会長柴田正男、幹事に、高松、綿引、人見氏が就任された。会則、会員名簿も発足時に発行されている。会員資格は大みか同好会員で58歳以上となっている。発足時会員54名で、全員が系列会社に転籍された人達である。大みか同好会員数が多くなり過ぎ困っていたので、その処置の一環と思う。54名中現在プレーしているのは齋藤さんと私だけで、40名位は他界されている。

第1回コンペは昭和48年5月に開かれ、参加者22名、会費2千円(年会費千円)、49年以降は会則通り年6回行われ、参加者は大体20名前後で推移している。昭和53年6月までは人見支配人に、それ以降58年までは山田支配人にコンペの面倒を見てもらっていた。

昭和58年末位からコンペへの参加者も30名前後に増え、幹事に丸山、鈴木、戸張、橋本の4氏が就任された。以後鈴木さんの献身的努力によって今日の発展があったと思う。

成績発表、表彰式は長い間みかの食堂で行われたが、成績結果を出すまでに時間がかかり過ぎ、会員の不満も多かった。パソコンを使ったこともあるが余り良い結果は得られなかった。最後の競技者がカードを提出するまではどうにもならないということに気付いたのは大分後のことである。色々試行錯誤の結果到達したのが、現在実行しているスコアカードを机の上に並べる方式である。私が委員で貢献できたのはこの位である。

## ● シニア会入会当時の思いで ●

鈴木 三郎



私がシニア会に入会したのは昭和52年頃と記憶している。当時山田清さんが会の世話をしていた。氏が都合で止められたので、代わって私がやることになり、丸山さんと二人でお世話をしていたが、私だけが現在まで続けています。

昭和48年4月当時の会員数は60名で、幹事は高松さん、綿引さん、そして支配人の人見さんと3名でした。昭和61年4月には会員205名となり、コンペも1回で出来なくなり、A組70歳以上、それ以下をB組の2組に分けて行うことになりました。その後毎年会員が増え続け、平成13年1月500名を越える盛会となり、組別も現在はA、B、C、Dになりました。私が入会当時お世話になった方で、現在もお元気で会に残っておられる方は、高橋前会長、斎藤会長、一木さん、杉江さん達の数人となっております。

私の日立シニア会の昭和60年から62年頃の成績を思い出してみると、第71回コンペの時、合計80、ハンディ6でネット74、46名中第4位。第75回コンペは合計83、ハンディ9、ネット74で優勝。第79回コンペでは合計80、ハンディ7、ネット73で優勝。人員は45名でした。今は年齢も86歳をすぎてゴルフも合計100以内を如何にして維持出来るかが、私のゴルフに対する意欲の一つです。そして少しでもシニアのお役に立つことがあればとゴルフを続けております。

## ゴルフと野鳥

多田 恒雄



ゴルフで追い求める鳥は昔からバーディー（幼児語で小鳥ちゃん）イーグル（ワシ）アルバトロス（アホウドリ）と決まっている。また、会いたくない鳥にブービー（カツオドリ）がいる。しかし、バーディー以外の鳥には、実際の野鳥観察同様、滅多にお目にかかれぬものである。

ゴルフ場で本当の鳥を探すと、大抵の場合スコアに悪影響を及ぼすが、順番待ちや、プレー中断時に野鳥の声に耳を傾けるのは心楽しいものである。双眼鏡の持込みは競技では厳禁であるが競技以外のプレイでは同伴者の同意を得ればOKであろう。

大みかGC内では年間を通じてヒヨドリ・ムクドリ・キジバト・ハクセキレイ・ウグイス・メジロ・ホオジロ・コゲラ・シジュウカラ・エナガなど、春夏にはヒバリ・ツバメ、秋冬にはジョウビタキ・アオジ・ツグミ・マガモ（4番の池）などが観察できる。

これらの野鳥は日立周辺の平地林や草原で普通に見られるものばかりであるが、生息できる環境を守り続けたいものである。



アホウドリ

## 私のゴルフ練習法

青木 忠



ゴルフの技術をマスターするには、専門書、テレビ番組を参考にして練習するのが基本であるが、シニアになれば中々体がついてゆかない。それで私はまず

1. 年相応のゴルフを心掛けて練習する。シニア会に入ってから、藤茂さん（故人）など年上で無駄な力を入れずきれいなフォームの方のプレーを真似するようにしてきた。

2. 練習ラウンドではスコアは気にしない。結果はどうあれ色々なトライすることにより意外な収穫もあり、ラウンドが楽しくなる。また、他のプレーヤーのプレーもよく観察する。

3. 家の庭で素振りやアプローチを練習するとき、つい力を入れ過ぎると変なクセ（例えば手打ち）がつくので注意する。ただ、最近プレー後に筋肉痛に悩まされるのは、年相応のゴルフではなくなっているのかも知れない。これからは80歳相応のゴルフを研究しないといけないと感じている。

## テレビ観戦と記録の保存

二平 豊治



「ゴルフ上達法」について、一文を寄稿せよとのご下命でしたが、些かおこがましいので勝手に改題し、日頃思うことを少しく述べてみたい。

### 1. テレビ観戦から学ぼう

技術面、ルール面、マナーなど沢山の知識を吸収することができる。男子プロの場合は、上手すぎて参考度は低いが、プレーヤーズゲストの蘊蓄ある言葉に耳を傾けたい。女子プロトーナメントの方は収穫がある。時々我々同様のミスもやってくれるので親近感が持てる。スコアの浮沈のみでなく、ピンチに陥ったとき、どのクラブを選び、どのように打つのか見ていると興味は尽きない。

### 2. 記録をノート、保存しよう

私はその日の詳細な記録をノートしている。今、私の手元には5冊の大学ノートが置いてある。月計したり年計したグラフを眺めると、その年その年の向上点、下降点が一目瞭然、結構楽しめるのでお奨めしたい。

## 私のゴルフ上達法

岡田 伸一



ゴルフの魅力にとり憑かれて30年、根が熱中性（症？）なものだから練習も随分とやってきた。少しでも上手になりたいと念じながらも奥が深くその度に喘いできた。そんなわけで特に披瀝する程の秘訣は持ち合わせていないが、体験から自分なりに有効と思われることを記してみたい。

先ず、ドライバーの連続素振りである。スイングとスイングの間を止めずに前後に一杯行う。20回も続ければ腕が痛くなってくるが、何回か繰り返す。ゴルフスイングに一番大切なスイングプレーンの安定化に役立つ。

練習場ではスイングリズムの確立に注力。特にアイアンは自分のリズムをしっかりと作ることが必要である。周りを見渡してリズムの良い人を見つけ、その人の真似をして技術を戴くようにしている。

パターについてはカーペットの上での練習のほか、ドライバーと同じように連続素振りを実施。畳の縁を利用してフェースが縁に対して常に直角になるようにして、前後に100回位素振りする。ストロークのスピードが一定になるよう心掛けている。

また、最近ではハードな筋トレに代えて、文芸春秋(H12.10 臨時増刊号)に掲載されたD.レッドベターの「シニアのためのエクササイズ(略)」を実行するようにしている。

## 58 シニアゴルフ会

幹事 山内 益正

日立シニア会で、日頃顔を合わせている同期の連中と連絡を取り合って大甕ゴルフ場に集まったのはH10年3月であった。人数は6人と少なかったが、この時が58(1958年入社組)シニア会の誕生である。月1回、第2木曜日を定例会とし、大甕ゴルフ場に集まることに決めた。仲間を誘い合い、同年5月には10名のメンバーとなり、H13.7は22名で第32回を終了した。

58年入社組は、約300名で日専校寮に缶詰になり、工場実習も含め集合教育を45日間も受けた。メンバー22名の出身事業所は、日立、多賀、国分、大みか、佐和、那珂、水戸、勝田、習志野、日研、化成とばらばらであり、事業所配属以来全く顔を合わせなかった面々もいたが、そこは同じ釜の飯を食った同志で一気に纏まり素晴らしいゴルフ同好会となった。日頃の大み



かでの練習成果は、日立シニア会例会にも如何なく発揮され優勝者4名（小野寺、八木、志村、角田）準優勝者2名（佐藤、矢崎）を出している。

58シニア会例会では、No3ホールでホールインワンを志村がH10年6月に達成、またH11.11.11の例会で某君が111回でまわる記念すべき記録も出ている。今後の目標は、会発足10年後のH20年3月にメンバーが一人も欠けることなく第100回記念コンペを開催することである。

大みか料理十番

取材 広報委員会

私共の大みか通いはゴルフと食事への期待あってのこと、オニオンスープに魅かれ、コーヒーに病みついての大みか通いです。その厨房をあずかって24年、シニア会諸兄もお世話になっている調理長の橋本さんに日頃の苦心談を伺いました。



調理長 橋本知行氏

1. まず自己紹介を・・・

橋本知行と申します。調理学校を卒業してすぐ大みかクラブに入り、当時の杉江調理長の許で修業しました。もうじきに勤続25年になります。

2. 厨房のスタッフは・・・

生頭、田中両調理師を軸に女性4名、それに手伝いの方といった布陣。

ゴルフ昼食は主として田中調理師が腕を振るっています。

3. ゴルフ昼食のお薦め品は・・・

ここ4、5年前から麺類を加えるなどメニューを増やしました。全てお薦め品ですが、特に「昔からの味のカレー」「フライ物」は如何？

ご意見を聞いて夏場は冷し中華など、お口に合うようにと努力をしております。

4. ゴルフ懇親会軽食のこだわりは・・・

ご予約の人数を聞き、魚は地元久慈浜の新鮮魚、肉は登利要と吟味を重ねて調達。

肉、魚、野菜のセットで寛いで戴ければと調理しています。

5. コーヒーのこだわりは・・・

コーヒーはいわゆる企業秘密にぞくするのでしょうか？然る取引先から豆で購入し、厨房で挽いて使っています。よそのコーヒー店には負けないと自負しています。

6. アルコールは・・・

クラブにはワイン、ウイスキー、酒が売るほど豊富に準備してございますので、車の心配がないときには上物の名酒もろもろ是非ご賞味下さい。お待ちしております。

7. VIPへの御膳こぼれ斬など・・・

先年、皇太子様ご来場の折、カレー、サラダ、フルーツを献上し、カレーを喜んで戴いたと聞き、大変感激したことがございました。

8. 最近「男子厨房に入るべし」と言いますがご助言を・・・

最近テレビの料理番組が多く、調味料など細かく説明していますが、あれは素人の方に判り易くするためのものでしょう。昔の修業は、上司から細かい指導はなく、失敗を繰り返しながら体で覚えたものです。とにかく、ご自分で経験することが大切でしょう。

9. 厨房の苦心談をお漏し下さい・・・

カロリー制約も塩分控え目大事ですが、一番気を遣うのは食中毒の問題です。お陰様で当クラブではこれまで一度も過ちを起こしたことがありません。

10. 最後に調理長さんのご要望など・・・

ゴルフの様に天気左右される行事は、食材の事前手配の立場上、ゴルファー以上に気になる点で夜も眠れぬ思いをします。ご賢察のほど・・・

お話を伺っていても日立野武士の気骨を思わせる篤実なお人柄が伝わってきて、改めて日頃の食事提供のお心砕きに頭が下がる思いがしました。有難うございました。



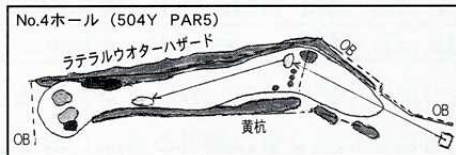
# 大みかコース攻略法(4)

## [II] 各論

競技委員会

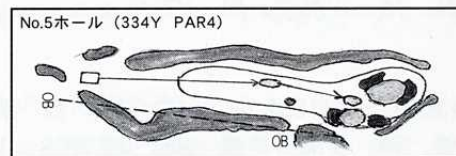
### No.4ホール (504Y PAR5)

- (イ) 第1打ベストポジション図示の通り。(3本松を越えた右位置)  
左に打つと第2打を池の方向へ打たざるを得ない。(前の1本松が目ざわり)  
第一打が飛ばないと3本松が邪魔。
- (ロ) 第2打は池の反対側へ打て。左ラフへ打っても斜面で出て来る。
- (ハ) アプローチの距離感は自分でつかめ。ヤーデージは短い。



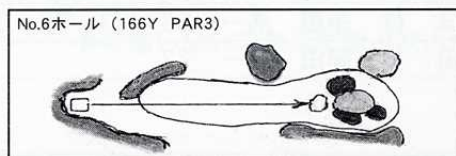
### No.5ホール (334Y PAR4)

- (イ) 非常に難しい。如何にして3オンさせるかを考えよ。
- (ロ) 第1打はフェアウェイ左に打つ、ラフでも可。右へ打つと前方の松が邪魔。
- (ハ) 第2打は直接グリーンを狙うな。きざみのベストは本グリーンと補助グリーンの間を球を運ぶ。  
2打目は打ち上げ、クラブ選択要注意。
- (ニ) 山に向かってのパットは極めて重い。



### No.6ホール (166Y PAR3)

- (イ) 寄せワン狙いで堅く攻める。バンカーに届かぬクラブできざめ。
- (ロ) 左手前バンカーはパターで出せる。
- (ハ) 海に向かってのパットは極めて速い。



#### 要注意

グリーンまでの距離表示について、多々質問がありますので、下記お知らせします。

- (1) ショートコースはグリーンの中央までの距離です。
- (2) その他のコースのヤード表示はグリーンエッジまでの距離です。

## シニア川柳

川 柳	氏 名	川 柳	氏 名
オービーと云われてぞ知るオールドボーイ	三好 幹人	今日こそがすぐに変るか今度こそ	小野寺 敬
青々と続く芝生でボール打つ	"	冷汗が惜しいの声を絞り出す	"
バンカーを均し均しに悔い残す	"	初優勝天にも昇る夢心地	田代 末吉
ワンオンシニアピンの夢やりやまず	"	優勝を意識し過ぎてフォーパット	"
シニアゴルフ年のハンディでパーブレイ	長瀬寿美雄	猛暑の日文句も言わずブレイする	曾根原隆士
飛ばし屋とグリーン上でも大あたり	"	この暑さボールが池にまっしぐら	"
行先はボールが悪いとニューブランド	"	ボールさえ水が恋しいシニア会	"
楽しいなダフチョロテンブラフォーパット	渡部 正義	会報で健在を知る上位賞	宮田 賢
プロ並の格好良さは素振りだけ	"	同伴者のお陰で結ぶご挨拶	"
パーディをねらってははずしボギーとし	"	「枯れてるね」云われて力む若気かな	鈴木美代治
A組は朝暗いのに供揃え	吉田 晴彦	「結果良し」期待ばかりでダブルパー	"

## 競技会成績

### ◎第165回競技会成績

於 日立ゴルフクラブ

☆A組	H13.4.12	G	H	N	新H
優勝	三好 文之	95	29	66	18
準優勝	吉田 晴彦	87	14	73	12
3位	高根 元	84	10	74	9
B G	高根 元	84			



三好 文之

☆B組	H13.4.19	G	H	N	新H
優勝	小野寺 敬	84	17	67	10
準優勝	河村 孝生	85	17	68	11
3位	薄 浩八	89	18	71	15
B G	小野寺 敬	84			



小野寺 敬

☆C組	H13.4.19	G	H	N	新H
優勝	長瀬寿美雄	85	17	68	10
準優勝	吉田 博通	99	29	70	23
3位	茅根 浩一	95	23	72	21
B G	岡田 伸一	77			



長瀬寿美雄

☆D組	H13.4.12	G	H	N	新H
優勝	小佐野勝春	95	29	66	18
準優勝	畔野 信政	77	9	68	4
3位	小西 健司	77	6	71	4
B G	畔野 信政	77			



小佐野 勝春

### ◎第166回競技会成績

☆A組	H13.5.10	G	H	N	新H
優勝	名久井徳弥	88	18	70	13
準優勝	久米 靖	101	29	72	25
3位	石崎 幸	90	17	73	15
B G	青木 忠	85			



名久井徳弥

☆B組	H13.5.17	G	H	N	新H
優勝	田代 末吉	91	26	65	15
準優勝	菅谷 恒朗	85	15	70	11
3位	涌井 滋	82	11	71	9
B G	涌井 滋	82			



田代 末吉

### 優勝者のことば

一木、笠井、今井さんと最高の同伴者に恵まれゆっくりと大きなスイングを心掛けた結果、かつてないスコアが出ました。優勝に感謝しております。更に健康管理で始めた早朝ゴルフ練習場通いに努めます。

B G優勝は初めてで、大変な名誉と感激しています。

パートナーの長谷部さん、田嶋さん、川上さんどうもありがとうございました。

良きパートナーに恵まれて、新世紀の幕明けの大会で初優勝することが出来、荒井、横須賀、今井さんに大変感謝しています。精進を重ねてハンディを維持する様頑張ります。

今年度最初の大会で初優勝でき、大変感激しています。天気、同伴者に恵まれ、良い一日となりました。新ハンディに負けぬよう今後も精進しますので、よろしく。

久しぶりの好スコアで優勝でき感激です。同伴の黒沢光明氏から「松の手入れ」を教わり乍らプレーしたことも好結果に繋がったように思います。楽しくプレーできたことを感謝します。

出来すぎでした。同伴者の皆さんに感謝致します。新ハンディは厳しいが、今度はブービーにならないよう頑張ります。

## 競技会成績

☆C組	H13.5.24	G	H	N	新H
優勝	永田 寿彦	89	19	70	14
準優勝	渡部 登	89	18	71	14
3位	岡田 伸一	77	4	73	4
B G	岡田 伸一	77			



永田 寿彦

まさか優勝するとは思っておりませんでした。これも同伴者の藤本、湯田、林田さんのお陰と感謝しております。これからもシニアゴルフを大いに楽しんでゆきたいと思っております。

☆D組	H13.6.4	G	H	N	新H
優勝	萩原 覚	86	16	70	11
準優勝	渡辺 清志	100	30	70	24
3位	佐藤 弑也	88	16	72	14
B G	岡田 定五	77			



萩原 覚

雨で流れた予備日であったため参加者が少なく、BGの岡田さんに引張られ、一番ホールは3回共バーディで、自分でもびっくりの念願の優勝でした。

### ◎第167回競技会成績

☆A組	H13.6.28	G	H	N	新H
優勝	新谷 雅男	99	27	72	22
準優勝	安達 宏	103	30	73	25
3位	坊坂 明	86	12	74	11
B G	坊坂 明	86			



新谷 雅男

つゆ時の晴れ間、信じられないイーブンパーでの優勝、感謝感激。

良き同伴者、遠藤、福田、小又さんに恵まれ、楽しくプレーすることが出来ました。

☆B組	H13.7.5	G	H	N	新H
優勝	曾根原隆士	88	22	66	13
準優勝	大越 健児	90	20	70	15
3位	梅津 隆	96	26	70	22
B G	皆川 公	84			



曾根原隆士

橋本さん、上村さんお二人の良きパートナーに恵まれ、今年一番の暑さで昼食に頂いたビールが程好くまわったことが優勝に繋がったと思います。ありがとうございます。

☆C組	H13.7.12	G	H	N	新H
優勝	鈴木美代治	84	18	66	10
準優勝	渡部 正義	76	5	71	3
3位	野田 仁郎	91	20	71	17
B G	渡部 正義	76			



鈴木美代治

2年間のゴルフ休止で体力upを図り6月から再開。最初の競技会での優勝は良きパートナーに恵まれての結果。心から感謝いたします。

☆D組	H13.7.19	G	H	N	新H
優勝	浪野 忠博	90	23	67	14
準優勝	飯塚 浩一	90	21	69	15
3位	渡辺 清志	93	24	69	19
B G	小西 健司	75			



浪野 忠博

このゴルフ場はなかなか難しく半ば諦めていましたが、この度素晴らしいパートナーに恵まれ、思わぬ幸運を得て、驚いております。更に腕を磨きチャレンジします。

## 総務委員会

### 1. 会員数現況（平成13年6月30日現在）

地区	組	A	B	C	D	合計（人）
日	立	81	111	67	59	318
ひ	たちなか	30	24	20	21	95
水	戸・東海他	28	29	15	16	88
合	計	139	164	102	96	501
年	令（H13.3.31）	69才以上	65～68才	63～64才	60～62才	

### 2. 新入会員（平成13年2月～平成13年6月）

No.	4月	氏名	HDC	出身	No.	氏名	HDC	出身
1	"	渋谷 洋	23	日	10	川崎 和明	—	化
2	"	斉藤 宏	28	国	11	川崎 寿夫	13	化
3	"	池田 宏之	26	日	12	滝川 嘉夫	36	日
4	"	鈴木 令淳	18	日	13	岡田 定五	4	日研
5	"	内田 武士	26	自	14	飯塚 浩一	21	日
6	"	牛山 啓	—	化	15	進藤 勲夫	21	多
7	"	波野 忠博	30	本	16	横見 迪朗	36	日
8	"	川上 浩	13	線	17	小澤 淳	21	日研
9	"	堀内 昭一	—	珂	18	戸波 宗彦	20	日研

### 3. 退会者（平成13年2月～平成13年6月）

No.	地区	組	氏名	月	備考	No.	地区	組	氏名	月	備考
1	水戸	D	根矢 武雄	4	ご逝去	9	日立	A	長沼 進	4	私事
2	ひたちなか	A	丑田 賢治	4	私事	10	ひたちなか	B	沼田 博篤	5	健康上
3	水戸	A	遠藤 正男	4	健康上	11	ひたちなか	B	岡野 貞夫	6	健康上
4	水戸	B	中村日出雄	4	隔地転	12	日立	B	山内 一	6	私事
5	日立	B	倉田 賢	4	隔地転	13	日立	B	細川 靖	6	健康上
6	日立	A	上杉 鉄雄	4	私事	14	日立	B	植木 忍	6	健康上
7	水戸	B	山村 忠夫	4	ご逝去	15	日立	A	柴田 久夫	6	私事
8	日立	B	山崎 一二	4	私事						

### 4. 白土プロ、レッスン会予告

今年の白土女子プロによるレッスン会は12月14日午前中を予定しています。  
多数ご参加ください。

## 編集後記

☆本会報も皆様のお陰をもちまして、第10号を迎えました。シニア会発足時からの会員、野沢、一木、鈴木三郎氏から、当時の思い出を、また、青木、仁平、岡田氏からは、ゴルフ上達法についてアドバイスを頂きました。有難うございます。

☆記念号記事として、日本野鳥の会茨城支部・監事の多田さんから、大みかGCで見られる野鳥に関連して、「ゴルフと野鳥」をご寄稿頂きました。

なお、いつも大みかクラブの食事でお世話になっている、橋本調理長をご紹介させて頂きました。今後もよろしく願い致します。

嶋野 末吉